■■共同研究・受託研究に関するアンケート調査結果■■

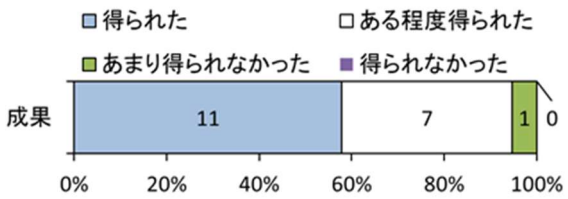
令和6年度に共同研究及び受託研究を実施した企業等を対象にアンケートを実施し，満足度を調査しました。その結果，全 19 社（延べ数）から貴重なご意見・ご要望をいただきました。調査内容及び調査結果は以下のとおりです。

《調査内容》

調査目的	中期業務計画（令和４～８年度）に基づき，共同研究及び受託研究利用企業の満足度等を調査し業務改善に役立てる。
調査対象	18テーマ（延べ19社）
調査期間	令和7年5月12日～6月5日
調査方法	調査票をメール送付
調査票	選択式及び記述式，9項目

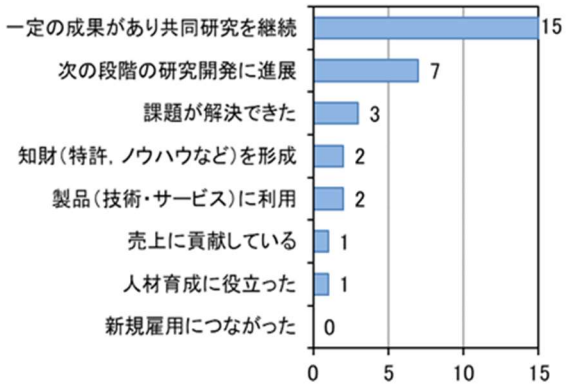
《調査結果》

Q1. 期待した成果が得られましたか



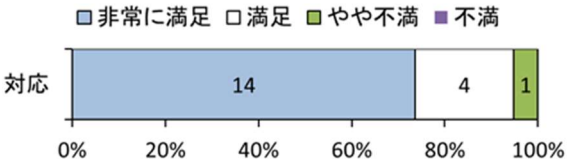
「得られた」，「ある程度得られた」との回答がほとんどでしたが，「得られなかった」という回答が1社ありました。この内容としては，技術を確立できたが，想定していた範囲までの目標達成に至らなかったというものでした。

Q2. どのような成果がありましたか（複数回答）



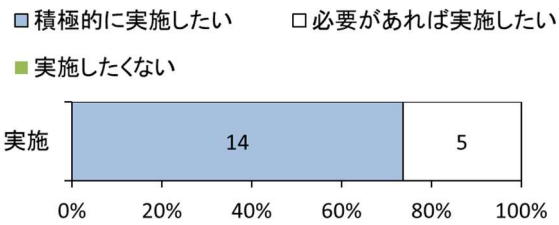
成果として，製品開発や実用化が進んだ，品質を確認できたなどの回答がありました。

Q3. センターの対応について



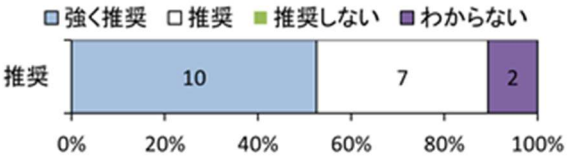
「非常に満足」，「満足」との回答がほとんどでしたが，「やや不満」という回答が 1 社ありましたが，問合せに対する対応についてのものでした。

Q4. 今後も実施したいと思いますか



すべて「実施したい」との回答でした。

Q5. センターの利用の推奨について



他の企業，事業者にセンターの利用を推奨するかの問いに対しても，ほとんどが推奨すると回答いただけました。

アンケート結果を参考に，利用企業の利便性の向上を図るとともに，今後も利用満足度 100％を目指し，業務改善に努めてまいります。

当センターでは，今年度も共同研究及び受託研究を行っています。研究の実施にご興味のある方は，お気軽にお問い合わせください。

最後にアンケート調査にご協力いただきました企業の皆様に感謝いたします。

TOPICS

■■特許登録「火山ガラス微粉末の製造方法及び製造装置」■■

（特許第 7541294 号）

県と株式会社プリンシプルが共同で特許出願した「火山ガラス微粉末の製造方法及び製造装置」が，令和6年8月20日に特許登録されました（特許第7541294号）。

本発明は，コンクリート用混和材に用いられる火山ガラス微粉末VGP（Volcanic Glass Powder）の製造方法及び製造装置に関するものです。

火山ガラス質VGをローラミルで平均粒径3．0～6．5μmに粉砕した後、遠心力場分級機で平均粒径1．0μm超～2．5μmの微粉RFと、平均粒径2．5μm超～8．0μmの粗粉RCとに分級し、回収することを特徴とするVGPの製造方法及び製造装置です。VGPの粒度は，大小に調整可能です。図1には，遠心力場分級機としてサイクロン分級機を用いた装置を示します。火山ガラス質VGとしては，シラス等の火山噴出物堆積鉱物から乾式分離装置により結晶質及び粘土質を分離して得られたものを含みます。

VGPは，シリカフューム代替，セメントと同等の強度発現性，塩化物イオン浸透抵抗性など優れた特性が認められており，SDGsやCO_2排出量削減に資する混和材として期待されています。そこで，県ではインフラ・建設GXプロジェクトにおいて，VGP等を用いた低炭素型コンクリートの普及を推進し，CO_2排出量削減とシラス産業振興を図ることとしています。

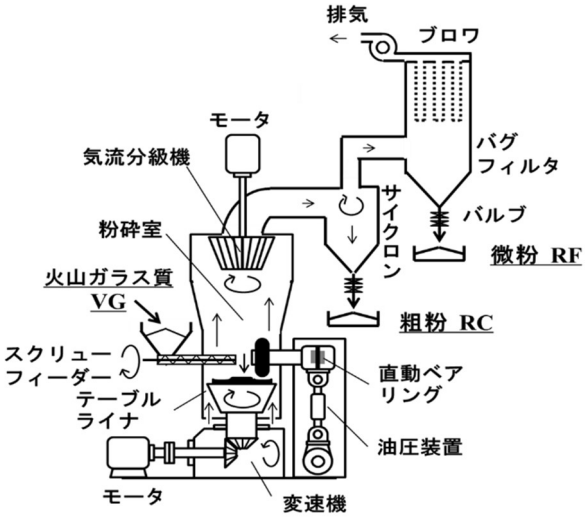


図1　火山ガラス微粉末VGPの製造装置

■■第8回取組事例報告会を開催しました■■

5月22日に県庁18階かごゆいテラスで「腸活に最適！もち麦を使った鹿児島みその研究開発」と題して，第8回となる取組事例報告会を開催しました。

昨年，吉村醸造株式会社（いちき串木野市）から，新商品「食物繊維たっぷりもち麦の整え味噌」が発売されました。

これは工業技術センター，鹿児島大学，鹿児島県味噌醤油工業協同組合，県内企業等で結成された「鹿児島みそワーキンググループ」における研究開発をもとに商品化に至りました。

鹿児島みその製法を活かした本商品は，もち麦を利用したことによって，豊富な食物繊維が含まれています。100g当たり9.2gの食物繊維が含まれていることから，「食物繊維たっぷり」の栄養強調表示が可能になりました。

県職員やかごゆいテラス利用者らが参加し，味噌汁の試食を交えながら，産学官連携で取り組んだ鹿児島みその魅力開発の成果について聞き入っていました。